

～志を高く 三刀屋中 !～

三刀屋中学校だより

令和2年9月

TEL 45-2421

P T A親子奉仕作業

8月23日(日)にP T A親子奉仕作業を行ないました。当日は、130名の保護者の皆様(参加率82%)に参加いただきました。改めて三刀屋中学校への期待や思いを強く感じました。作業では、普段ではなかなかできない校舎裏の観覧席、体育館横の法面、自転車小屋の裏の斜面の草刈り等をしていただきました。

小学校から引き続き作業をしていただいた保護者の方もありましたが、熱心に取り組んでいただき、短時間でとてもきれいになりました。お陰で気持ちよく2学期を迎えることができました。また、3年生は地域のボランティアを兼ねて1組は三刀屋川の土手やグランドゴルフ場のゴミ集めを、2組は、世代間交流施設「ほほ笑み」の駐車場の草抜きを行ないました。熱中症の心配もありましたが、奉仕作業にご協力いただき、ありがとうございました。



【3年2組の活動の様子】



【自転車小屋裏の斜面の様子】



【校舎裏の観覧席】



【体育館横の法面】



【生徒による花壇の草抜き】



【生徒による草集め】

模擬面談お世話になりました

来月、10月7日(水)～9日(金)にかけて3年生は職場体験学習を実施します。例年は、雲南市内7校の中学校が一斉に職場体験を行ないませんが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一斉での実施は中止となりました。しかし、生徒の進路選択を考える上で重要な取組みであり、3年主任の清水先生から「三刀屋中単独でも実施させてほしい。」という強い要望もあり職場体験の事業所を決める模擬面接を7月16日(木)に行ないました。お忙しい中、地域の方々12名の方々に面接官を務めていただきました。ありがとうございました。



【模擬面談の様子】

《面接官の感想・ご意見より》

- ☆ どの生徒も、内容についてはよく考えられてしっかり話せていて感心しました。一番難しかったのは、意欲や熱意を伝えることでした。中学生にとって面接で初対面の人に意欲や熱意を伝えるのはハードルが高いことだと感じました。礼儀はよく指導されていました。
- ☆ 生徒さんは、とても真面目に受け答えができていました。練習の成果が十分に表れていたように思います。予想外の質問から様子を見させていただきましたが、とても落ち着いて対応できていました。マスクのせいでしょうけど、少々言葉が聞き取りにくいところがありましたが、これは仕方がないと思います。集団面接の中で無難に答えることだけが正解ではないことを指導しておきました。動作礼法についても、指導された通りにできていました。これが自然な所作として身につくよう生活してほしいと話しておきました。

《職場体験学習にご協力いただいている事業所》(敬称略)

雲南警察署	三刀屋総合センター	三刀屋こども園
三刀屋小学校	三刀屋保育園	紅梅しょうゆ
シャディギフトこばやし	しゃぼん玉工房	デイサービスみとや
ディスタンスセンター陽だまりの家	介護老人保健施設「平和苑」	梅里苑
みとやの郷	中野の里づくり委員会	難波石油 Dr.Drive 三刀屋店
日本料理 花ぶさ	ハウジンググランドいない三刀屋店	堀江クレーン
みしまや三刀屋店	三刀屋地区まちづくり協議会	三刀屋文化体育館アスパル
三刀屋郵便局	躍動と安らぎの里づくり鍋山	木村有機農園レストラン旬香
ティー コパン アン	三刀屋自動車工業	ヘアサロンドタナカ サロンドタナカ
Dining & café 39+	Hair room huit(ヘアルームユニット)	セリアみしまや三刀屋店
梅木建設	ローソン三刀屋木次インター店	ホンダ雲南販売

新型コロナウイルス感染が心配される中、校区内33事業所の方々にご協力いただきます。

※本校のホームページ随時更新中！ぜひご覧ください！ <http://shimane-school.net/unnan/mitoya-chu/>

三刀屋中の応援団！

次期学習指導要領では、学校で学んだ知識や技能が社会にどのように生かされているのか、社会に役立つためにはどのような事を学んだり、何を身につけなければならないかを生徒に実感させるために「社会に開かれた教育課程」、「社会参画」などが強く求められています。「職場体験学習」も学びと社会のつながりを肌で感じる学習です。地域の方の苦労や工夫、喜びなど実体験に基づいた生の声を聞くことは、教科書を使った学習の何倍も何十倍も説得力があり、生徒の心の琴線に触れると思います。今回、コロナ禍の中で33事業所の方々が本校の生徒の体験を引き受けていただき、とてもありがたく感謝しています。部活動においても、バレーボール部の指導に三刀屋地区主任児童委員の中村七朗さん、本校OGの片寄麻衣さん、渡部千紗さん、ソフトボール部の指導に『三刀屋の子どもを育てる会』の三浦尚二さんにご協力いただいています。また、バレーボール部、ソフトボール部は今年度地域の方々の寄付による教育振興会費でユニフォームを新調させていただきました。このように、本校は学習面、部活動面において『三刀屋中の応援団』である保護者、地域の方々に協力していただきながら学校の教育活動が成り立っています。

新型コロナウイルスによる偏見・差別について

新型コロナウイルスの感染は、世界196の国・地域に広がっており、累計感染者は、世界全体で2963万3590人、死者は93.6万人（9月17日現在）を上回っています。死者は出ていないものの本県でも137人の感染者が出ています。この感染症において世界の中で、また、日本の中で偏見・差別などの事象が発生しています。何故、偏見や差別が起こるのでしょうか。この偏見や差別などが起こる仕組みを日本赤十字社が「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」の中で分かりやすく説明しています。

第1の感染症の顔は「病気そのもの」

このウイルスは、感染者との接触でうつる。感染すると風邪症状や重症化して肺炎を引き起こす。

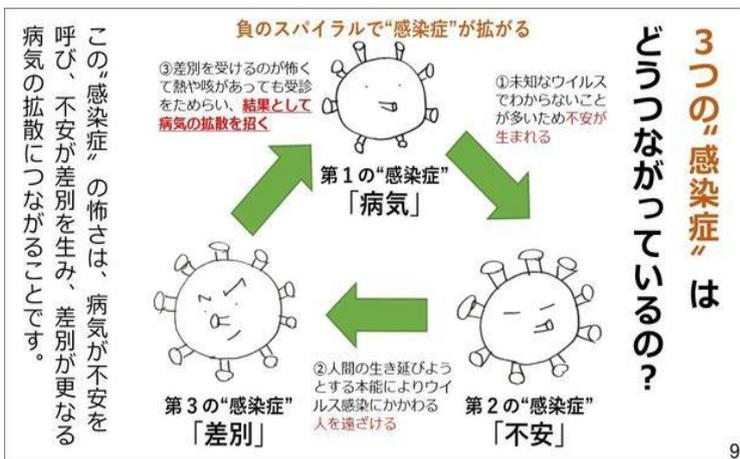
第2の感染症の顔は「不安と恐れ」

このウイルスは見えない上に分からないことが多く、ワクチンや特効薬も開発されていないため、強い不安や恐れを感じて振り回される。

第3の感染症の顔は「嫌悪・偏見・差別」

強い不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激し、ウイルス感染に関わる人や対象を遠ざけたり差別したりして人と人との信頼関係や社会のつながりを壊してしまう。

新型コロナウイルス感染症が拡大、長期化している状況では、誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況にあります。本当に恐ろしいことは、病気そのものではなく病気によってこれまで築いてきた絆や信頼関係、社会のつながりを失うことです。生徒には授業や集会等を通して正しい知識と相手を思いやる心を指導していきますので、ご家庭や地域においてもよろしく願いいたします。



「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

日本赤十字社より

体育祭

9月13日(日)の雲南市は曇り、最高気温は23℃の予報。時折、小雨の降る天気でしたが生徒は、『SHIN-新、真、進-呼吸!!~青春のNO1の思い出をつかもう~』のテーマのもと、3年生を中心に一致団結して体育祭に取り組んでくれました。(本来ならば、多くの保護者の方、地域の方、普段お世話になっている来賓の方に体育祭を見ていただきたかったのですが、コロナウイルス感染防止の観点から入場者を制限させていただきました。申し訳ありませんでした。)



《色長による選手宣誓》



《大混戦のリレー》



《競技前の手指消毒》



《レスキュー隊出動!》



《水分補給しなくては!》



《大玉運び》



《青組 3年生》



《赤組 3年生》



《息のあったダンス》



《精一杯のかけ声》



《賞をもらい大満足》



《最後の色別集会》